



第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階
 例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪 4F
 会長 寺杣 晃一 幹事 平尾 彰彦 ソグ・プログラム・広報委員長 御木 威

事務局電話 (06) 6344-0120 FAX (06) 6344-0126 ホテル電話 (06) 6347-7111
 E-mail: temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

OCTOBER 28 2021 NO. 2547

地域社会の経済発展月間・米山月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2547回)
- 2) ソング 紅葉
- 3) 卓話 「レビュージャパネスク浪漫『炎樹』(えんじゅ)」
元宝塚歌劇団 白川 亜樹 様
高田 肇 会員紹介
- 4) 次年度理事・役員指名委員会
- 5) 11月度定例理事会

次週(11月4日)のお知らせ

- 1) 例会 (2548回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) 卓話 ロータリー財団月間記念卓話
「グローバル補助金」
7重点分野における人道的国際奉仕活動
地区ロータリー財団委員会
補助金小委員会 委員長 新堂 博 様
国際奉仕委員会
- 5) 記念写真撮影

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

秋も夜長になりますと「読書の秋」となりますが、戦後1947年には読書の力で平和を築く目的に「読書週間」として文化の日を中心とする10月27日から11月7日に制定され「読書の秋」という言葉が根付いた様です。印刷技術から聖書として広まり、宗教改革、そしてルネッサンスに影響を与えました。活字は情報の伝達、文明の発展に寄与されるものであります。

ロータリーにも基本的教育と識字率向上月間がございます。コロナ禍の中でありましたが、先週例会に於いて職業奉仕賞授与式を6名の受賞者にお越し頂き恙なく執り行う事ができ、会員の皆様にも多数のご出席、協力有難うございました。また職業奉仕委員会には大変お世話になりました。

先日宝塚ゴルフ倶楽部で、今年度の第1回会長杯と前年度取りきり戦を開催致しました。17名と多数会員にご参加頂き激戦の中、優勝、とりきり戦共に小寺会員が制覇されました。私としては勝敗にかかわらず楽しい1日となりました。同好会井戸キャプテン、望田幹事には参加者を代表してお礼を申し上げます。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①「2021-22年度 地区大会」出欠のご返事を本日中に事務局までお願いいたします。
- ②秋の家族会の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ③「ロータリー国際大会及び陽明RC45周年記念式典の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ④次週例会終了後「11月度定例理事会」を開催いたします。本日ご案内させていただいておりますので関係各位宜しくお願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日の卓話、宜しくお願いします。 西井 幾雄
 西井さん奥様の監視付の卓話ががんばって下さい。 井戸 幹雄
 在籍25ヵ年自祝 石田 道夫
 在籍23年自祝、3連続欠席お詫びします。
 川原 和彦
 在籍2年自祝 望田 謙三
 結婚記念日自祝 高田 肇
 誕生日自祝 荒木 幾夫
 山村さんの再入会おめでとうございます。

中川 政照・高松 貞彦

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	43名	10月21日の出席率	79.49%
国内ゲスト	2名	会員出席	31名(39名)	4週間前(9月30日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	18名	メイクアップを含む出席率	84.21%
外国ゲスト	0名	会員欠席	8名	メイクアップ実施会員	2名(欠席者8名)

第1回寺杣杯ありがとうございました。また、中島直前会長、とりきり戦では、めずらしいシャンパンをありがとうございました。

小寺 寿矢

ゴルフ同好会、楽しい1日でした。井戸キャプテン、望田さん、高松さん、有難うございました。

寺杣 晃一

仲西さん、いつもありがとうございます。家族で楽しませてもらいます。

高田 肇

令和3年10月21日 合計金 63,000円

累計金 648,000円

☆☆ 先週(10月21日)の卓話 ☆☆

「人間・経営者」

西井 幾雄 会員

東京、1年印刷会社で奉公して、ナニワ印刷(今のNPCコーポレーション)の関連製版会社に営業として入社したのが、昭和45年でした。

当時のナニワ印刷は関連企業を含めて3社あり、160人が在籍していました。父、西井幾蔵が活版印刷で始め、創業いたしました。当時の活版印刷会社としては規模の非常に大きい会社でした。西井幾蔵は大阪府印刷工業組合の理事長も務めていました。活版印刷会社としての最盛期は昭和43年頃でした。

昭和48年に石油ショックは起りました。48年には消費者物価が23%上がり、経済は-1.2のマイナス成長に落ち込みました。私は常務取締役として、厳しい局面に対峙しました。これが第〇回目の経営者としての苦悩した時でした。

その後、平成7年1月17日の阪神大震災は発生しました。それを機会に活版印刷の廃止を決意しました。阪神大震災でオフセット印刷に切り替えました。

平成23年3月23日に東北大震災が発生しました。この時点あたりから印刷の出荷は徐々に毎年確実に減る時代になり、新聞、雑誌がスマホに変わって来ました。減る印刷物に応じて人件費を含む経費の削減に努めました。これが3度目の厳しい局面でした。組合と団交して混乱した時は短い時間でしたが。売上の減少・経費の削減は長く続き苦しみました。

しかしコロナ感染の拡口から流れが変りました。以前からの商品AR、動画、HPの制作、遠隔授

業・面談のサポートが少しずつ売れ出しました。

3度目の困難な経営時代に突入した様に感じています、何故かと言えば印刷以外の売上のウエイトは10%しかありません。10%の仕事はAR、HP、ICT、動画ですが、これを毎年倍増しなければ減る売上に追いつかない計算になります。売上を上げ、利益を生み出すのは厳しい状況と判断しています。

処で9月までの売上は前期比15%上がるだろうと予想しています。しかし半分以上はコロナのお陰なので、76期の状況は不確定であり、すんなりとは行かないと見っていますが、殆どの社員は従来の待ちの姿勢で営業をしています。また現場は自分たちで、創意・工夫をする習慣が出来ていません。これが変わらなければ収益の改善は出来ないと見えています。

この体質を変える事が私の残された経営者の仕事だと思っています。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

栗のクリームスープ、クルトン添え
牛フィレ肉のグリル、野菜のプティファルシ、
ブラックペッパー風味のソース
柿のタタン、クロテッドクリーム添え
コーヒー又は、紅茶
バゲット、胡桃入りソフトロールとバター

紅葉
秋の夕日に 照る山紅葉
こいもうすいも かずあるなかに
松をいろどる かえでやつたは
山のふもとの すそもよう
二、谷の流れに 散り浮く紅葉
波にゆられて はなれてよつて
赤や黄いろの色さまざまに
水の上にも 織る錦

作詞 高野 辰之
作曲 岡野 貞一